

平成 28 年度神奈川県特別職報酬等審議会委員懇談会の概要

平成 28 年 10 月 28 日（金）

10 時 30 分～12 時 00 分

シルクセンター中会議室

1 出席者

- （委員）会長 望 月 正 光（関東学院大学教授）
委員 齋 藤 聖 美（ジェイ・ホント 東短証券株式会社代表取締役社長）
委員 柏 木 教 一（日本労働組合総連合会神奈川県連合会会長）
委員 高 橋 二三代（県政モニターOB会幹事）
委員 武 内 鉄 夫（公益社団法人神奈川県医師会副会長）
委員 並 木 裕 之（株式会社神奈川新聞社代表取締役社長）
委員 平 松 廣 司（一般社団法人神奈川県商工会議所連合会副会頭）
委員 松 尾 美智代（神奈川県地域婦人団体連絡協議会会長）

（当局側）黒川副知事、中村総務局長、南雲組織人材部長、鈴木人事課長

2 議事内容

- (1) 特別職の給与等について
- (2) その他

3 特別職報酬等審議会委員懇談会の位置づけ

「特別職報酬等審議会」は、「議会の議員の議員報酬の額並びに知事等の給料の額」について、知事の諮問に応じて開催され、調査審議を行うものであるが、「委員懇談会」は、本来の調査審議事項の取扱いのみならず、本県の財政状況や、一般職の給与の状況などを踏まえながら、特別職全体の給与・退職手当などの水準やあり様などについて、同審議会の委員が幅広く意見交換をするための会議としている。

4 意見交換の概要

(1) 特別職の給与等について

事務局から、平成 28 年の人事委員会勧告の内容、特別職の報酬及び一般職の給与の過去の改定状況、特別職の報酬等の水準等について、全国の状況等を説明し、委員から意見を伺った。

委員からの意見の概要

（給料月額）

- ・ 物価上昇率などの客観的な経済状況からみても見送った方がよい。
- ・ 650 億円の財源不足が見込まれる中で、経済のエンジンを回して、県経済を活性化させていかなければいけない状況下において、報酬を上げるのは厳しい。

- ・ 最低賃金は上がったが、企業収益はそれほど伸びていないため、中小企業の経営はかなり厳しいと聞いている。上げる状況にはない。
- ・ 知事の働きぶりを勘案して報酬の額を決めた方がよい。

(期末手当)

- ・ これまでの懇談会において、国の指定職に合わせるという判断をしてきたのだから、その判断を尊重して、国の指定職と合わせて0.1月引き上げるべき。
(現 3.15月 3.25月)
- ・ 報酬の額を据え置くのであれば、期末手当も3.15月で据え置く方が整合性がとれる。

(退職手当)

- ・ 報酬の引き上げはないため、退職手当も据え置きでよい。
- ・ 委員の任期は2年あるので、来年度退職手当を含めた年間報酬額について議論してはどうか。

(2) その他

事務局で懇談会結果の概要版を作成し、委員に確認の上、本県のホームページに公開することとした。